「泌尿器科疾患における臨床的検討」についての
説明およびご協力のお願い

徳島県立三好病院泌尿器科では、外来または入院で診察・検査・手術・薬物療法を受けた泌尿器科疾患患者を対象に下記の研究を実施しています。今後行われる学術大会や研究会、医学雑誌等で発表させていただくことをお願い致します。

１．研究テーマ

泌尿器科疾患における臨床的検討

２．目的

泌尿器科疾患は悪性・良性腫瘍、排尿障害、性機能、尿路感染症、腎疾患など幅広く存在します。そして、泌尿器科医は診断・治療に関しても内科的治療（内服薬や抗がん剤治療・分子標的薬治療・免疫治療など）から、様々な手術手技（解剖の理解、ロボット支援手術、内視鏡手術、腎移植、透析医療など)・放射線治療まで扱うことが求められています。また、診断・治療は日々、急速に進歩しており、これまでの経験を後ろ向きに調べ次の医療に役立てていくことは大変重要です。そこで、カルテに保存された泌尿器科患者データや残余検体を後ろ向きに検討し、これまでの経験について、手術成績や治療薬の効果、予後予測のマーカーなどのデータを客観的にまとめることが必要であると考えられます。今回の臨床検討では、泌尿器疾患について、カルテ情報や残余検体をもとに後ろ向きに患者データをまとめることを目的としています。具体的には泌尿生殖器腫瘍、尿路結石症、尿路感染症、下部尿路機能障害、腎機能障害、性機能障害、先天性泌尿器疾患の患者さんを対象として、予後、転帰、再発率、患者背景（年齢、性別、既住歴、生活歴、服薬歴)、術後合併症、QOL（生活の質）をまとめ、各疾患における当院ならびに徳島大学泌尿器科関連施設の治療成績や希少例の予後の検討を具体的に示すことを目的としています。

３．方法

泌尿器科に受診または入院した患者さんの既存資料をもとに患者背景、検査データ、予後などをまとめます。泌尿器疾患について電子カルテから得られた患者背景や検査データ、残余検体（パラフィンブロックなど）をもとに、統計学的解析をおこないます。内科的治療、外科的治療および放射線治療に対する有効性や副作用について調査します。年毎の変化、治療や診断の変化の効果や予後に関して統計解析を行います。調査については基本的に既存資料を解析するため、患者さんに直接調査へのご協力をお願いすることはありません。しかし、現在の状況が不明な場合に調査にご協力をお願いする可能性があります。

４．個人情報について

この研究では、患者さんが特定されるような情報は取り扱いません。また、研究結果をまとめて専門の学会や学術雑誌に発表される可能性がありますが、患者さんのプライバシーは保護されます。

5．研究への協力の任意性と同意撤回の自由について

この研究は、患者さんの診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者さんに新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して、鍵のかかる部屋で厳重に保管し、個人情報を保護します。

データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。診療に不利益は全く生じません。

6．研究組織

研究責任者　　：徳島県立三好病院　泌尿器科　医員　福田 恭太郎
共同研究者　　：徳島県立中央病院　泌尿器科　部長　中西 良一
研究総括責任者：徳島大学医歯薬学研究部泌尿器科分野　教授　金山 博臣

7．問い合わせ先

〔照会および研究への利用を拒否される場合の連絡先〕

徳島県立三好病院　泌尿器科　福田 恭太郎
TEL：0883-72-1131　　FAX：0883-72-6910
Email：miyoshibyouin@pref.tokushima.jp